

No. 1220

ラッキールーラに栄冠

第44回ダービー

東西の優駿28頭が覇をきそう第44回日本ダービーは5月29日、14万のファンを集めた東京競馬場で行なわれました。距離2400メートル。

(実況放送)

先行したラッキールーラは直線外から追い込むハードバージに頭差競り勝って優勝。伊藤正騎手は父・正四郎氏から41年ぶり史上二回目の父子ダービージョッキーとなりました。

成田空港は、いま……

年内開港に向けて動き出した成田空港。千葉県成田市に新国際空港が作られることになってから、実に11年間、この間投じられた費用は6,000億円、反対闘争は激化の途をたどり、警官4人を含む、5人の闘争犠牲者を生んだ。そして今なお、芝山鉄塔跡地など空港周辺は緊張の空気に包まれている。空港二期工事区域内にある天神峰地区。のどかな田園風景だが芝山鉄塔撤去後反対闘争の前面に立っている。開港までには多くの問題が残されているが、公団のミスから買収できない畑地がいくつかある。滑走路のはずれにある反対派農民宮野さんの畑。小泉さんの畑はコントロールタワーと目と鼻の先、高速道路を寸断した形で残っている。これらは騒音、空域、交通手段などの問題と共に早期開港への不安をなげかけている。農地をコンクリートの下敷きにし農民を土地から追いたてていく空港政策に反対派の動きはますます活発化してきた。天神峰地区の農民「三里塚空港は恨みの空港だ」「我々は反対のための反対ではなく生きる権利を主張している」

「農地死守」の旗印を掲げ過激派も巻き込んだ反対同盟の抵抗。農民たちの土地に対する気持ちは強い。問題をこじらせた背景には政府の「上意下達」の誤算と無責任さがあったのではなかろうか。成田空港が国際空港として、羽ばたくのはまだまだ先になりそうだ。